

会津朝日岳 山行報告

【山城】 南会津

【コース】 赤倉沢登山口→叶の高手→会津朝日岳→往路をピストン

【日程】 2018年6月14日（木）

【参加者】 CL 鈴木憲二 鈴木愛子（記録）

【コースタイム】

○6月13日（水）千葉 14:00⇒東北道西那須野 IC⇒道の駅きらら 289 で車中泊

○6月14日（木）

道の駅きらら 289 4:30 発⇒イワナの里⇒赤倉沢登山口 5:30 登山開始⇒赤倉沢越⇒三吉ミチギ 6:40
→人見ノ松 7:54→叶の高手 8:15→オオクロペの木 8:22→避難小屋⇒会津朝日岳頂上 10:20 着 10:50 発
→避難小屋⇒大クロペの木 12:25→三吉ミチギ 13:21→赤倉沢登山口 14:15 着→道の駅きららの温泉で、
汗を流す⇒帰葉

【記録】

○6月14日（木） 天気 曇り後晴れ

道の駅きららを 4:30 に出発し、赤倉沢登山口に向かう。登山口に近いイワナの里の駐車場は駐車代金が千円との事。そこより 200m位先に無料の駐車場がある由をネットの情報で得る。10 台位駐車できそうとの事。そこに 5 時過ぎに着く。すでに 2 台の車が駐車していた。日本 200 名山に選定されてからは、登山者が多くなり、土日祝日は駐車することが難しそうとの事である。

登山届入れの箱があり、提出し、5:30 に出発する。駐車場からすぐに木の橋の沢を渡り、しばらく歩き、二つ目の木の橋で沢を渡る。登山道の右側が杉が多い林で左側下が沢で、水の流れる音を聞きながら、気持ちよく歩く。ピンクのタニウツギの花が沢山咲いていて私たちを迎えてくれる。花びら一つ一つがとても可愛い。標高 600m 位の所から沢の水の音が聞こえなくなり、沢の向こう側の山の斜面に雪が沢山ついていて、沢は雪で埋まっていた。その辺りにスノーブリッジが出来ているのが見えた。私達が歩いている登山道に雪はないのだが、谷や山の斜面で雪解けが遅い所もあるのだなと、思いながら歩く。



赤倉沢登山口にて さあ出発！



タニウツギの花

更に歩を進める。飛び石づたいに沢を 2 回渡る。しばらく歩き、「三吉ミチギ」の水場に着く。冷たく美味しい水に元気をもらう。

展望のきかないブナやカエデ、ミズナラ等の樹林帯の九十九折れの道をしばらく歩く。緑がとても綺麗で気持ちが良い。そして「人見の松」に着く。ガイドブックには奥会津の山並みが眺められ、休憩には最高のポ

イントと書いてあったが、ガスっていて何も見えず残念であった。

「人見の松」から「叶の高手」までの間、イワカガミ、アカモノ、ヒメサユリ、ウラジオヨウラクの花が咲いてとても綺麗で、励まされた。「叶の高手」は展望がなかった。ここを過ぎると、正面に、会津朝日岳、それに連なる山並みが見え、木々の緑と、雪溪の白と、空の青のコントラストが美しい。

そこから少し下ると、大クロベ（ヒノキ科の常緑樹の大木）が2本あった。1本は枯れていた。大クロベの木を過ぎると、しばらく下りの道であった。そして熊ノ平に着く。まだ雪がたくさん残っていて、雪の上を歩けることが嬉しい。雪溪を越えると避難小屋が建っていた。



ギンリョウソウ



イワカガミ



サンカヨウ



ヒメサユリ

更に歩を進めると、「バイウチノ高手」に着く。山頂へのスラブ状の岩場が広がっていた。雪を沢山つけて長い雪溪の部分と、雪溪の左側は雪がない状態の所とあった。雪溪はとても急でアイゼンとピッケルがないと登れそうもない。アイゼンとピッケルを持参しなかったので、雪溪の左側の急坂を登る。

40～50 cmの草が枯れてわらの様に横たわっていて、その下は泥で滑りやすく、岩の部分が少なく、滑らないで登れそうな足を置く場所が少ない。ストックをしまい、両手で低い灌木の木につかまり、よじ登って進む。稜線直下の数mの岩の溝の所にロープが張って有り、それにつかまってよじ登る。そこを過ぎ、しばらく斜めにトラバースする様にして登って行くと岩の稜線に出た。そこまで急登で滑りそうで、すごく緊張し怖かった。

アイゼンとピッケルがあれば、雪溪を上り詰めた方が歩きやすそうであった。

稜線に出た所のピークが山頂に思えたが、ガイドブックに書いてあった様に、そうではなく更に右へ少し進むと、3等三角点のある山名表示板が設置してある山頂に着いた。その時はガスも晴れ、360度の眺望は素晴らしかった。越後駒ヶ岳、飯豊連峰はまだたくさん雪をつけていた。丸山岳、会津駒ヶ岳、平ヶ岳、浅

草岳、守門岳、尾瀬の山、那須の山、等々の山が見えた。あまりにも素晴らしい眺めで、頂上で30分も休憩をしてしまった。

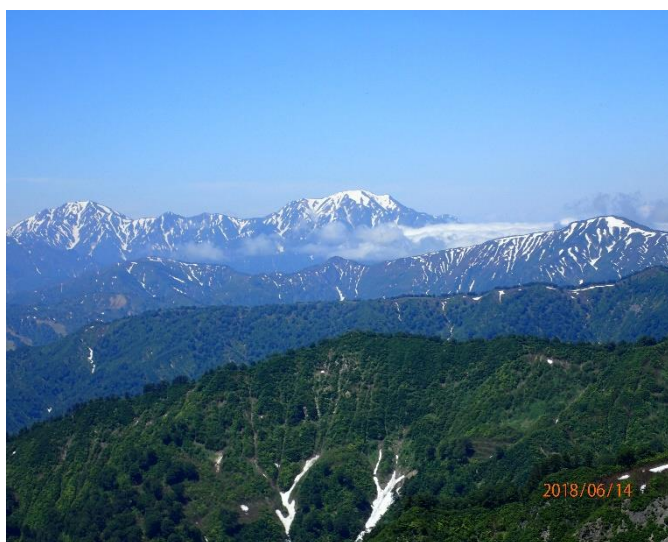
夫曰く「目の前に2年前の4月に登った城郭朝日山が見えて懐かしい」と。



熊ノ平にて



会津朝日岳の頂上にて



頂上からの越後駒ヶ岳



ウラジオヨウラク

下山は往路を辿る。頂上直下の枯草、泥状の所を慎重に気をつけて下りる。そこを下り終えるとホッとす。またヒメサユリ、イワカガミ、ウラジオヨウラク、タニウツギ等の花たちに励まされ、赤倉沢登山口に14:15着で登山終了。

道の駅さららの温泉で、汗を流し、帰路に就いた。

○今回の山旅を終えての感想

・私の感想

タニウツギ、イワカガミ、ツバメオモト、アカモノ、ギンリョウソウ、タムシバ、オオカメノキ、ヒメサユリ、ショウジョウバカマ、サンカヨウ、ウラジオヨウラク、ウラジオドウダン、ニリンソウ、紫色、白、黄色の3種類のすみれ等々たくさんの花たちに会えたことが嬉しかった。

・夫の感想

登山道沿いにコシアブラが多く見られ、春先に山菜取りに行きたいと思った。